

登録コード	FSC20600	開講年度	2026			
授業題目	感性工学特別実験Ⅳ				担当教員	田中 稔久 他
英文授業名	Advanced Experiments in Kansei Engineering IV				副担当	佐古井 智紀・堀場 洋輔
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	実験	備考	
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				⇔	【授業の達成目標】
	26FS加・繊維学					
	【専攻】基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力				⇔	基礎科学に関連する総合的な自然科学分野の普遍的基礎学力，さらにそれを発展的に応用できる能力
	【専攻】繊維科学に関連する学際・業際領域を切り拓く創造的能力				⇔	繊維科学に関連する学際・業際領域を切り拓く創造的能力
	【専攻】専門分野において企画・管理等を行えるマネジメント能力				⇔	専門分野において企画・管理等を行えるマネジメント能力
	【専攻】専門分野における深い学識に基づく，卓越した実践的技術力および研究能力				⇔	専門分野における深い学識に基づく，卓越した実践的技術力および研究能力
(2)授業の概要	感性工学に関するより専門的な科学実験について，その原理，方法を理解させる。集中形式で行い合計60時間以上の実験実習を実施する。実施する実験について，実験の計画を立案，実施し，結果を内容についての討論を通じて，実験方法，評価方法を習熟させる。従来の実験方法を理解させるだけでなく，それらにとらわれない自由な発想での新たな実験方法の考案を喚起する指導を行い，独自に実験を計画遂行しうる能力を養う。2年次に「感性工学特別実験Ⅲ」とともに受講する。					
(3)授業計画	担当教員ごとに、対面及びオンライン（非同期・同期）により実習を実施する。 各担当教員の指示・連絡に従うこと。 第1回 実験手法の解説と実験計画の立て方(全教員) 第2回 高度な実験手法に関する実験準備の解説(全教員) 第3回 高度な実験手法に関するデータ収集実習(全教員) 第4回 高度な実験手法に関するデータ処理実習(全教員) 第5回 高度な実験手法に関するデータ解析実習(全教員) 第6回 高分子材料の高性能・高機能化に関する基礎実験の実習準備(全教員) 第7回 高分子材料の高性能・高機能化に関する基礎実験実習(全教員) 第8回 高分子材料の高性能・高機能化に関する専門実験の実習準備(全教員) 第9回 高分子材料の高性能・高機能化に関する専門実験実習(全教員) 第10回 高分子材料の高性能・高機能化に関する応用実験実習(全教員) 第11回 衣服の外観および着心地評価に関する基礎実験の実習準備(全教員) 第12回 衣服の外観および着心地評価に関する基礎実験実習(全教員) 第13回 衣服の外観および着心地評価に関する専門実験の実習準備(全教員) 第14回 衣服の外観および着心地評価に関する専門実験実習(全教員) 第15回 衣服の外観および着心地評価に関する応用実験実習(全教員) 第16回 社会科学的調査手法に関する基礎実験の実習準備(全教員) 第17回 社会科学的調査手法に関する基礎実験実習(全教員) 第18回 社会科学的調査手法に関する専門実験の実習準備(全教員) 第19回 社会科学的調査手法に関する専門実験実習(全教員) 第20回 社会科学的調査手法に関する応用実験実習(全教員) 第21回 コンピュータを活用した人体運動の計測とシミュレーション基礎実験の実習準備(全教員) 第22回 コンピュータを活用した人体運動の計測とシミュレーション基礎実験実習(全教員) 第23回 コンピュータを活用した人体運動の計測とシミュレーション専門実験の実習準備(全教員) 第24回 コンピュータを活用した人体運動の計測とシミュレーション専門実験実習(全教員) 第25回 コンピュータを活用した人体運動の計測とシミュレーション応用実験実習(全教員) 第26回 高分子材料実験結果に関するプレゼンテーションおよび討論(全教員) 第27回 衣服の外観・着心地評価実験結果に関するプレゼンテーションおよび討論(全教員) 第28回 人体運動とシミュレーション実験結果に関するプレゼンテーションおよび討論(全教員)					
(4)成績評価の方法	出席を含む授業への参加態度（60%） 発表の内容による評価（40%） 得点率による評価基準は次の通りとする。 90%以上 秀， 89－80% 優， 79－70% 良，69－60% 可，59%以下 不可。					
(5)成績評価の基準						

(6)事前事後学習の内容	
(7)履修上の注意	2年次に「感性工学特別実験Ⅲ」とともに受講する。
(8)質問,相談への対応	随時
(9)授業の形式	小グループに分かれて行う実習形式の授業
(10)学生へのメッセージ	担当教員とのディスカッションをもとに、自ら主体的に実験・実習を企画して実施すること。
【教科書】	担当教員と相談の上，選定する。
【参考書】	担当教員の指導の下，自ら調査し収集する。